

まちづくりコンテスト2025 応募者の概要(提案内容の公表を希望された応募者のみ、応募順で掲載)

応募者名	プロジェクト名	プロジェクトの概要	応募者公式サイト等のURL等
日本アグリスポーツ協会	アグリスポーツで繋ぐ、人と地域のイキイキ連鎖	富山県射水市西高木の耕作放棄地や古民家を舞台に、「農業×スポーツ=アグリスポーツ」で田園風景と地域コミュニティを再生するプロジェクトです。畑を走るクロカンイベントや合宿、収穫祭などを通じて、子どもや若者、農家、都市部の参加者が出会い、関係人口と担い手を育てるモデルづくりに挑戦します。	https://note.com/agrisports
のざわふあーむ	蔵を改装した自給型民泊の再生プロジェクト	2024年に能登半島地震を経験し、スーパーやコンビニから水や食料品が無くなる経験をしました。そこで使われていない蔵を利用して、平常時でも非常時でも対応できる自給型民泊を作り、薪で沸かす五右衛門風呂、下水が要らないコンポストトイレ、ソーラーで電気の発電など昔の知恵の再利用と現代技術を混合させた生きる力を養う体験型民泊で人口減少が進む南砺の活性化に繋げていきます。	Instagramアカウント: maaana.36
【スタート枠】 公開プレゼン	細川 遥	状況が変わっても働き方を選び続けられる社会へ。	家庭の事情や療育・通院などで一般的な働き方が難しい人でも、無理なく働き続けられる仕組みをつくるプロジェクトです。短時間・在宅・柔軟勤務・個人事業などから働き方を選べ、状況が変わっても調整しながら働けます。地域の企業や団体とつながり、仕事を循環させることで、継続できる働く環境を実現します。
大西真理子(IKEDA BASE(イケダベース))	IKEDA BASE — 挑戦がめぐる里山経済をつくる廃校活用プロジェクト	2027年に廃校となる池多小学校を、都市と地域をつなぐ「挑戦の入口」として再生するプロジェクト。農業体験、CSA、チャレンジショップ、小商い育成、地域の困りごとを挑戦に変える“イケダスケ”アプリ、宿泊機能を組み合わせ、関係人口を増やす。耕作放棄地や担い手不足などの地域課題を解消し、挑戦がめぐる里山経済モデルを構築する。	
富山ウェルビーイング共創ラボ	富山ウェルビーイング未来人材育成プロジェクト	若者と女性のウェルビーイングを高め、地域参画へつなげることで、富山の未来を担う人材を育成するまちづくりプロジェクト。 高校生~20代・子育て女性を主対象に、自己理解支援、親子コミュニケーション、ヘルスケア、地域参画チャレンジ、成果発表を通じて、学ぶ→つながる→地域を動かす循環をつくる。 ウェルビーイングを政策とする富山県において、市民レベルで着実な担い手育成を実現し、県全体への波及を目指す。	https://www.instagram.com/toyama_wellbeing_lab/
ひろみん	マチ育てサポーター	私は主任児童委員として小中学校での教育支援、放課後デイ、介護施設など幅広く地域の子どもと高齢者をサポートしています。現場では人手不足と大人の余力が活かしきれていない課題があります。そこで主婦や子育てを終えた方を「地域サポーター」として育成し、こども園・小中学校をつなぐ仕組みをつくりたいと考えています。地域の力を循環させ、子どもも高齢者も安心できるまちの実現を目指します。	
富山県立氷見高等学校 海洋学科	ウニとやさいクルプロジェクト	地球温暖化の影響で深刻化する「磯焼け」は、海藻が失われ、ウニだけが増えることで海の生態系が崩れる社会課題です。私たちは、駆除したウニを畜養し、農家の課題である規格外野菜を活用することで“海と畑をつなぐ循環モデル”をつくっています。これまで地域の漁師・農家・企業・他県の学生の方々とともに活動し、協働しながら磯焼け問題の周知と解決を進めてきました。より多くの方にこの課題と挑戦を届けたいと考えています。	
Sunny & Cherry	脱・孤育て 一人じゃないよプロジェクト	「発達障害」「不登校」を軸に子供の「気になる行動」に関する様々な子育てに関する不安や孤独感、病院に相談するにはちょっとハードルが高いと感じられるとき「こんなところがあるんだ」と気軽に話できる場があることを知ってもらう。 児童精神科病棟での看護の実務経験を活かし、一緒に考え実践して親子や取り巻く人々が安心を得られるように縁の下の力持ちになって地域生活を支える「脱・孤育て 一人じゃないよ」プロジェクト	
富山型民泊プロジェクト 「connect」空き家を活かし 防災機能とリピーターによる地方創生	富山型民泊プロジェクト「connect」空き家を活かし 防災機能とリピーターによる地方創生	富山型民泊プロジェクト「connect」は、空き家を地域との「つなぐ」拠点に変革します。行政との防災連携と農漁協との体験プログラムで交流を深めることで、リピーター・ワーケーション層を増加(40%目標)。この関係人口創出モデルにより、富山県の構造的課題を解決し、持続的な地域経済への貢献を目指します。	

まちづくりコンテスト2025 応募者の概要(提案内容の公表を希望された応募者のみ、応募順で掲載)

応募者名	プロジェクト名	プロジェクトの概要	応募者公式サイト等のURL等
【スタート枠】 公開プレゼン 株式会社clover farm	国吉農村丸ごと学童保育構想を実現させたい	富山県の子どもたちに、自然の中でのびのびと成長してほしい。そんな子どもを見守り、関わるコミュニティの形成によって、農村丸ごと笑顔にしたい! 牧場に隣接する農地で放課後学童保育を行うことで、子どもたち自ら野菜の栽培や収穫、子牛の世話を協力して行い、収穫した作物を家庭に持ち帰ってもらう。子どもの自立と創意工夫を促し、農育、食育、家庭の食の豊かさも実現。	
Ebichan	まち育(まちいく)親子コミュニティ創生プロジェクト—コミュニティナースとしての実践の場づくり—	まち育(まちいく)は、乳幼児親子が安心して集える小規模な居場所を起点に、日常の中で親子の変化や困りごとに気づき、必要な支援へつなぐ「コミュニティナース実践の場」です。少人数のおしゃべり交流や、ペタペタート・防災などの体験型講座、地域で活動するママ講師との協働を通して、相談のハードルを下げ、孤立しやすい子育て家庭を地域で見守る仕組みづくりを行います。	
PaMaWa	子育て支援センター・児童館 Instagram動画発信プロジェクト	(富山県公式)Instagramに、支援センター・児童館専用アカウントを新設。 PaMaWaと県内子育てインフルエンサーが協力し、信頼性と親しみのある動画発信で“行く前から安心できる”子育て情報のプラットフォームをつくります。	
【ステップアップ枠】 公開プレゼン カミノイチ運営委員会	POPUP商店街 カミノイチ	かつて「市」のまちとして栄え、「吳東隨一の賑わい」を誇っていた上市町の市街地エリアの空き家・空き店舗を活用し、ある週末の2日間だけ出現するPOPUP商店街。町内の有志により2025年に4回開催され、点在する会場を人が行き交い、日頃人通りの少なくなったまちなかが賑わう機会となっている。直近では全15会場、46出店者、ライブ出演9組が参加する規模となり、さらなる拡充と継続を目指しています。	https://www.instagram.com/kaminoichi1/
トミファ 富山オープンファクトリー実行委員会	地域型オープンファクトリー「トミファ」により、ものづくり企業と地域社会の発展を目指すプロジェクト	富山のものづくり企業が工場を一般公開し、工場見学やワークショップ等を通じて、富山の自慢である「ものづくり」を広く発信する取り組み。トミファの想いに共感する産学官金がさまざまな連携を行い、ものづくりを核とした地域を巻き込む取り組みとして発展させることで、ものづくり企業と地域社会の発展を目指すプロジェクト。	https://tomifa.jp/
子ども市役所	子ども逆転プロジェクト	子どもも立派な社会の一員。子どもの意見アイディアを行政へ！子どものこと、多様な学びの子どもたちを知ってほしい！子ども達がやってみたいを見つけ、チャレンジできる機会作り。学校に行きづらい子にも美味しい昼食を。富山の素敵な団体と協力して実現したい。	https://www.facebook.com/share/1MbCUFjVhU/
一般社団法人にいかわ学びの森みらい会議	学びの森みらいプロジェクト	新川天神山学びの森交流館を核に、音楽を中心とした既存の文化事業を発展・再編し、文化・学び・人・地域が循環する仕組みづくりを目指す地域共創型プロジェクトである。学びの森音楽祭や地域資源との連携による交流事業を通じ、魚津市にとどまらず新川広域圏にひらかれた多世代交流・学びの拠点としての機能を再構築し、文化・教育・観光が支え合う持続可能な地域再生モデルの構築を図る。	https://manabinomorimirai.jimdofree.com/
中央通り会議室	エッセンシャルワーカーが見守る街なか銭湯から始まる、まちづくり「愛しテルマエとやま」	街なかで閉業した銭湯を活用し、見守りや軽度介助の視点を取り入れた温浴の場を再生する。介助が必要な人もそうでない人も同じ空間を共有し、入浴という日常行為を通して自然な関係性が生まれる仕組みをつくる。銭湯が本来持っていた公共性と学びの機能を、現代の暮らしに合わせて更新し、地域にひらかれた新しい居場所として育っていく。	
富山大学都市デザイン学部都市・交通デザイン学科自主プロジェクト「運河と町のマリエジュ」	廃棄物再利用による緑の徒歩回避ルート育成事業	住友運河沿いの景観改善を地域の人たちと行い、つながりを深め、活気を高めていくプロジェクト。その第一歩として、植物を育てるには適さない運河沿いの花壇の土壤を、コンポストを用いて改善していく。使用するコンポストは、住友運河周辺地域の店舗に協力していただき入手した生ごみや、馬場記念公園の落ち葉を使用する。荻浦まちづくり協議会にご協力いただき、地域の人達と一緒に土づくりの仕組みを構築し実践していく。	https://www.instagram.com/mariage_tomidai/# https://www.facebook.com/parktopark.design

まちづくりコンテスト2025 応募者の概要(提案内容の公表を希望された応募者のみ、応募順で掲載)

応募者名	プロジェクト名	プロジェクトの概要	応募者公式サイト等のURL等	
一般社団法人SUPOPO CULTURE HAPPINESS	部活動地域展開で子ども達の可能性を広げるためのクラブチームを作るんだ!	部活動地域展開で全国的に子ども達が中学校では活動できなくなっています。じゃ、外部クラブチームを作つて安心して活動してもらおうじゃないか!可能性を伸ばせる場を作りたいです。	supopo.jp	
IMZip	まちを守る新アイドルIMZip「みらいのめ基金プロジェクト」	IMZipは、射水市を拠点に活動する「社会課題解決型アイドル」です。子どもたちが地域の課題に触れ、学び、行動する“まちのヒーロー”として、農業などの発信活動を行っています。本プロジェクトでは、地域の課題を子ども目線でわかりやすく届けるPR活動と、地域団体との協働企画を通じて「若い世代が地域を守る文化」を育てるモデルづくりに挑戦します。	https://imzip.jimdofree.com/ https://www.hokkoku.co.jp/articles/tym/1704732 https://news.yahoo.co.jp/articles/f283c77b0ef4c032b045a6a9276d93dfecd6076d	
富山職人図鑑 滑川しごとチャレンジ実行委員会	滑川しごとチャレンジプロジェクト	子どもが将来思い描く仕事は、触れた経験のあるものに限られると言われています。しかし、建設職人をはじめ地域の多くのしごとに出会う機会は減少し、担い手不足も深刻です。富山職人図鑑は、職人を中心に地域の多様なしごとに出会う「入口」をつくる取組です。今年は「滑川しごとチャレンジ」として実装し、子どもの将来の選択肢を広げ、地域に残る可能性を育むモデル構築を目指します。	https://www.instagram.com/toyama_shokuninukan?igsh=N3BhZXV5eHRIOTNn&utm_source=qrcode	
NOWHERE	Yorimichi プロジェクト	「条件不利地域」の日常を、かけがえのない「体験」へ 地域おこし協力隊を、旬を切り取るローカルキュレーターと位置づけ、ガイドブックにはない「人への寄り道」として可視化する。隊員の世界観や丁寧な暮らしに触れた旅人とマッチング。「場所」ではなく「あなた」に会いに行く旅で、過疎地を「デスティネーション」に変え、持続可能な関係人口を生み出す。 富山発、全国へ広がるYorimichiプロジェクト。		
【ステップアップ枠】 公開プレゼン	SUNSAIJI	謎解きで富山を遊ぶプロジェクト	富山市・高岡市の街中を舞台とした周遊型の謎解きゲームを無料で提供し、まだ誰も知らない「富山県の魅力」を謎解きゲームを通して県内外に広めたい。	https://sunsaiji.com/
玉響プロジェクト 心と環境を整える地域再生	玉響プロジェクト 心と環境を整える地域再生	41号線沿いのノーベル賞通りや、八尾のおわらの地域を起点に、人とモノ、人と人を再び結び、地域を元気にする取り組みを進めたいと考えています。 富山の子どもたちは本来とても優秀ですが、「決まり」や「危険だから」という言葉に守られる中で、挑戦や冒険する気持ちが薄れているように感じます。 今ある文化や志で動く人々をつなぎ、お金だけに依らない循環を生み出すことが玉響の役割です。		
晒屋通りプロジェクト	まつしまや RE:START	米騒動の舞台ともなった明治期建築の歴史的建築物を再生し、カフェやイベント、展示、まち歩きの拠点として活用するプロジェクトです。単なる保存ではなく、人が集い、学び、語らうことで心の豊かさやつながりが育まれる場を目指します。継続的な運営と収益化を通じて、地域の歴史と暮らしを次世代へつなぎ、地域のウェルビーイング向上と周辺エリアの活性化につなげていきます。		